



第 493 号 令和元年 8 月 1 日
発行所 京都市学校医会
京都市中京区間之町通竹屋町下ル
楠町 601-1 こどもみらい館 2 階
T E L (075) 256-0351
F A X (075) 241-3568
発行人 林 鐘 声

運動器検診の現状と課題—京都市からの報告

会 長 林 鐘 声

6 月 9 日（土）に開催された日本小児科医会フォーラムで上記を発表しましたので、その二次抄録を下記に示します。

「京都市立小中高生—平成 28 年度 96,593 人、平成 30 年度 92,869 人—の運動器検診の悉皆調査の結果を報告する。平成 28 年度の有所見者率は 17.5%（脊柱 4.4%、四肢 13.1%）、専門医受診指示率は 2.5%（脊柱 0.9%、四肢 1.6%）、平成 30 年度のそれらは 14.2%（脊柱 4.1%、四肢 10.1%）、2.0%（脊柱 1.1%、四肢 0.9%）、有所見者の 7 人に 1 人は専門医受診の指示を受けていた。四肢ではしゃがみ込み不可が多く、他の項目でも学年とともに右肩上がりに増加する一方で、高 1 では一時的に低下していた。脊柱側弯症は運動器検診の導入によって検出数が増え、四肢ではオスグッド病、腰痛症、腰椎分離・沁り症などが多く、ペルテス病、右臼蓋形成不全といった疾患も発見されていた。

今後の課題は、整形外科医が専門性を発揮して運動器疾患の予防や早期発見・早期治療の必要性について、児童生徒や保護者に啓発していくことにある。」

6 月 9 日の夕方、京都整形外科医会の 6 人の理事の先生方（立入・岩田・中嶋・山下・小室・森原）と会合を持ち、京都市の運動器検診の現状を踏まえた上で、これからの課題は学校・学校医・教育委員会に加えて整形外科医の出番が来ていることに共通認識を持つようにしました。京都整形外科医会の先生

方から下記の要望を頂きましたので、学校医会が教育委員会や校舎長会の懇談会で説明し協力を求めました。

1. 京都市教育委員会主催の運動部活動指導者研修会で学校運動器検診について、学校関係者に啓発する機会をいただきたい。
2. 京都整形外科医会では、現在行われている運動器検診項目に対してストレッチ指導法をビデオで作成し、学校において使用できるような取り組みを開始していることを伝えていただきたい。
3. 京都市にモデル校を選定していただき、学校に整形外科医師による運動器検診を導入することの許可をいただきたい。
4. 運動器検診について京都市学校医会と京都整形外科医会との連携協議会を 3 ヶ月に 1 度行い、京都市教育委員会の先生にも連携協議会に参加していただきたい。

1. 9 月 4 日の運動部活動指導者研修会で森原先生に 20 分ほどの時間を確保しました。
2. 内容を確認の上、体育や部活動に常時活用できるようにしていかないとならないものです。
3. 日程ありきの検診ですので、日程調整に無理のないように進めます。
4. 1 の終了後に、今後の活動内容の決定のために協議会を開く予定です。

第70回指定都市学校保健協議会 第3分科会【心の健康】に参加して

西京高校学校医 杉本英造

協議題：豊かな心を育てるための教育活動や支援の
在り方

協議の視点：心の健康の保持増進を目指す保健教育
の在り方

心の健康問題の早期発見・早期対応す
るための組織体制の在り方

1. 子ども虐待に対する学校歯科医の関わり

～川崎市歯科医師会の取り組みについて～

川崎市歯科医師会地域保健部 学校歯科委員会

2. 「子どもが輝く学校保健」

～保健室から発信するユニバーサルデザインの
視点～ 相模原市くぬぎ台小学校

3. 子どもの心のサイン！保健室での理解と支援

さいたま市立大宮南中学校

4. 自分の健康に関心を持ち、主体的に健康生活を 実践できる子どもの育成

～児童保健委員会の自主的・実践的な活動の効
果をめざして～ 岡山市立建部中学校

5. メディアが及ぼす子どもの心身の影響について

～メディアと健康セルフチェックシートの活用
を通して～ 北九州市立若園小学校

演題1. 川崎市の「子ども虐待」は2008年：724件
から2017年：2368件と約3.3倍に増加。予防→発
見→事後支援を基本に取り組み、歯科医は 多数
の齲歯、口腔内清掃不良、外傷歯や体のアザ、体
に触れるとおびえる等に注意を要する。

演題2. 複雑に絡み合った心身の健康課題へ対応で
きるよう利用しやすい保健室環境の整備。児童自
らが意欲的に健康課題解決に取り組むよう、例え
ば外傷の洗い方を練習する教育。

演題3. 「ヘルスケアアセスメント」を活用し、「つ
らさ・がまんの温度」を推量

演題4. 教師や外部講師による指導・体験を通し
「楽しく学ぶ活動」。学んだことを全校に広めるた
めの工夫をすることで、実践力を高め、達成感が
持てるようにする。

演題5. 「減メディア」に対する健康教育。「メデ
ィアと健康セルフチェックシート」を活用

1. 家族内で使うルールを決めている
2. 毎日しないと気がすまない
3. 外遊びよりメディアを使っているほうが楽しい
4. メディアを使い夜12時過ぎる
5. SNSをよく利用する
6. メディアのことが気になり読書・勉強に集中で
きない
7. メディアができないとイライラする
8. ぐっすり寝れない
9. 朝起きれない
10. 頭が痛い
11. 目の疲れ・視力低下
12. 肩・腰痛

シートから個別指導の取り組み・保護者への啓発
を行い、依存症にならないよう予防する。

ゲーム障害は、WHO のICD11版で精神・行動の
障害として、新たな依存症となった。依存症に特効
薬はなく、スマホ育児の是正をふくめ、学校現場で
の保護者も含めた啓発活動は大事。今後、心身への
医学的見地から、学校医会でもとりあげていきたい
テーマである。

学校における健康管理医/産業医の活動

西京高等学校医・産業医 杉本英造

西京高校は職員86名ですので50名以上の職場には
産業医が配置されるため私が兼務しています。春の
定期健康診断・運動器検診以外に、年1回の学校保
健委員会と年2回の衛生委員会に出席すること、月
1回、生徒・教諭の健康相談と月80時間超過勤務さ
れた教員の面談を行っています。また教職員の定期

健康診断後の結果に目を通し、必要な方には面談し
助言および医療機関受診勧奨を行います。

①学校保健委員会：学校医（内科2名・眼科）、学
校薬剤師、校長、副校長、教頭、事務長、生活指
導部長、各学年主任、保健主事・養護教諭、定時
制副校長・養護教諭

- 1) 定期健康診断の結果：養護教諭
 - 2) 定期環境衛生検査の結果：学校薬剤師
 - 3) 保健室来室状況：養護教諭
 - 4) カウンセリング利用状況：スクールカウンセラーからの報告書
 - 5) 健康相談の状況：学校医
- ②衛生委員会：保健委員会出席者に中学校教頭が加わります
- 1) 施設面の課題と今年度の現状：事務長
 - 2) 超過勤務の現状について：中学教頭，高校教頭
 - 3) 超過勤務者面談状況：学校医
 - 4) 校内巡視

学校保健委員会が生徒の健康について話し合う場であるのに対し、衛生委員会は学校施設と教員の健康を議題にしています。今回は衛生委員会についてご紹介します。

平成15年に西京高校は西京商業高校から移管しましたが、この年からの衛生委員会での議事録が毎回提示され、職場巡視での指摘事項がどのように改善されたか、そして現在問題となっている事案について話し合います。教室照度・換気、図書室の湿気・カビ問題、保健室、職員室の手洗い場、トイレ、プールの改善、台風・豪雨、地震被害の対策・改善などです。巡視では、駐輪場が夜真っ暗で、生徒の保安に問題あり照明を設置したこともあり、多くの目で見えることは大事です。職員の働き方改革も重要な課題です。過労死ラインである1ヶ月の80時間超過勤務している職員数を中学と高校から報告を受け、改善策を話し合います。

長時間労働者への医師の面接指導：産業医による面談

月100時間を超えた時間外・休日勤務、疲労の蓄積、本人の申し出（ストレスチェックを受け高ストレス状態にあり面談希望）により、医師（産業医）による面接指導が行われます。医師の意見聴取をもとに、事業者は対策義務があり①経過観察②就業場所の変更③作業転換④労働時間短縮⑤作業環境測定⑥施設・設備の整備⑦衛生委員会への報告⑧保健指導などの措置がとられます。

健康管理医として学校医による面談

（月80時間を超えた教員への面談）

超過勤務原因としては①クラブ活動 ②授業の準備（補習授業を含む）・文書作業 ③会議 ④児童・

生徒の朝の登校の見守り ⑤不登校の解決 ⑥修学旅行や学外活動の準備（旅行社との交渉等）⑦保護者面談・対策

特に多いのが、クラブ活動に関するもので、運動系の部活では、土日の活動の増加や事故防止などの安全管理のため、顧問・コーチ教員の疲労度が増えています。レベルの高い大会に出場するクラブでは超過時間が100時間を超える教員が多く、面談しても指導を生きがいにしておられるので、学校医の出番はないように思われることも多々あります。それでも80時間以上の超過が続くと、心臓・脳・精神に障害をきたすことを粘り強く説明する必要があります。文部科学省も学校教員に負担がかかりすぎないように、外部の人材に指導や試合の引率を認める「部活動指導員」を制度化しましたが、現場の声を聴くと成果がでて、クラブ顧問教員の負担が軽減しているようです。会議の多さを訴える職員も多く、学校長はできるだけ定例会議時間の厳守（長引かないよう）と簡素化に努力いただきたいと思います。しかし、不登校・感染症・事故対応の臨時会議、家庭訪問、保護者対応もあり負担の要因になっています。19時以後の電話対応を留守番電話にすることで、電話件数が減少し効果がでているようです。また「校務支援員」が配置され、文書作業を手伝ってもらうことで教員の負担軽減に成果が出始めています。

学外授業や修学旅行の準備も児童・生徒の安全な旅行遂行に重要ですが、負担になるのも事実です。西京高校の修学旅行は海外に出るのですが、さらに行先が多方面で（全員が同じ所でなく）、現地での体験学習を選択するコースなど多岐にわたり、旅行社との交渉にストレスを感じている教員もおられます。

健康管理医の面談は、超過勤務に対してだけでなく、職員健診上の内科的問題や、こころの問題も合わせて傾聴し、相談に乗ることも大事かと思えます。勤務以外でも、両親の介護負担や認知症問題、家庭内の問題などのストレスが心身に与える影響も無視できません。

カウンセリングでは日常生活に健康増進を取り入れる工夫、良好な生活環境と睡眠確保、食生活、日常の体力維持のための運動、ストレス対処能力向上を取り入れます。

月80時間超過になると面談を受ける煩わしさから、あえて80時間未満の報告をする教員も多く、課題はたくさんありますが、教員の心身健康が児童・生徒の健康に繋がると思い頑張っています。

全 理 事 会

令和元年 8月3日

於：瓢樹

出席者 井本・杉本副会長，山内専務理事，大久保・川勝・西村・中嶋各常任理事，周藤・公手・辻幸子・辻丈夫各理事，高橋義公京都府眼科医会会長，嶋元眼科学校医会幹事，鈴木耳鼻咽喉科専門医会理事，奥村議長，東道・長村監事

・会長挨拶

<報告事項>

1. 京都市教育委員会との懇談会 7/6
於：MOTOI
働き方改革 運動器検診 ワンポイント相談
2. 令和元年度京都市学校保健会理事会・評議員会
7/9 於：京都市総合教育センター
3. 色覚相談 7/9, 7/23, 7/30
4. 精神衛生研究会 7/11
5. 南支部会 7/13 於：京都 瓢斗
参加者9名 新任校医2名参加
6. 校園長会との懇談会 7/20
於：京都祇園天ぶら八坂圓堂
働き方改革：保育士，小中学校教諭，高校教諭
の実情報告
7. 京都市中学校選手権総合体育大会 柔道種目
於：京都市武道センター
7/20 渡辺全夫先生
7/21 児嶋貴久先生：医務室には7名来室
8. 京都市小学生記録会第33回水泳記録会
於：京都アクアリーナ 7/24 奥村先生：3名
9. 第41回近畿学校保健連絡協議会 7/25
於：兵庫県神戸市 参加者なし
10. 各支部報告
左京支部：支部会は今年度で予定
西京支部：新任校医あり，来年開催予定
山科支部：支部長は2年目
伏見支部：支部会開催予定なし
11. その他 事務局休み 8/15~18
(お盆休みとしては 8/15~16)

<協議事項>

1. 京都市学校保健会 京都市学校保健・学校安全
功労者表彰について 内科：安野先生？
2. 全国学校保健・学校医大会 出席者について
11/23(祭日・土) 9名？
3. 令和元年度子どもの健康習慣行事に係る「子育て
支援シンポジウム」後援について
アレルギー診療の最新事情 於：医師会館
4. 京都市中学校秋季総合体育大会 柔道種目医師
派遣依頼について 土曜日の派遣が難しい
5. 学校医会ニュース9月号 原稿依頼について
眼科医会会長に依頼
6. 養護教育研究会との懇談会
養護教育研究会からのご質問・ご要望について
(別紙)
7. その他 学校医の役割について

<関連学会・各種協議>

1. 養護教育研究会との懇談会 8/31 17:30~
於：Da Yuki 参加者9名
2. 第4回常任理事会 9/7 2:00~
3. その他

